第28回ひろの童謡まつり

中学校の児童・生徒、ふたば未来学園、合唱団「めじろたち」、県庁混成合唱団「きびたき」、今回が初めての参加となるいわき翠の杜高等学校音楽部を加えた出演者、兵庫県たつの市からは議会議長をご招待申し上げ、約600名の来場者を得て開催いたしました。音楽祭では、たつの市と広野町から生まれた童謡を歌い継ぐとともに、童謡文化の継承を図るとともに、童謡による町づくりをより一層推進させるべく取り組みました。

10月28日、株式会社JERA本社を訪問し、森崎宏一常務執行役員に対し、町と議会の合同要望書を議長と共に手交しました。要望活動では、広野火力発電所2号機の廃止決定にあたり、発電所の跡地利用についてスピード感を持って検討することや、発電所跡地を活用した新たなエネルギー拠点の構想の確立などを求めました。

11月4日、二地域居住アーティスト・イン・レジデンス調査構築事業の活動が始まりました。今年度は「高倉山」をテーマに、招へいアーティスト4名が町の歴史・風土・文化をリサーチし、居住地と広野町を往来しながら、3月のお披露目会に向けて作品制作に取り組みます。

11月8日、福島くらし&しごとフェア2025が東京都の東京交通会館で開催され、福島県への移住を検討する約320名が来場しました。本町は移住相談窓口を出展し、町の魅力をPRするとともに、訪れた18名の移住相談に対応しました。

11月22日・23日、JOIN移住・交流&地域おこしフェア2025が東京都の東京ビッグサイトで開催され、移住を検討する約3，100名が来場しました。本町は22日に移住相談窓口を出展し、町の魅力をPRするとともに、訪れた14名の移住相談に対応しました。

12月1日、J2リーグのシーズン終了に伴い、いわきスポーツクラブ「いわきFC」の大倉智代表、田村雄三監督、所属選手及びスタッフら総勢41名の皆さんが、ホームタウンである広野町へ今シーズンの結果報告に来訪されました。広野町から、来シーズンの活躍を祈念し、みかんの丘で収穫したみかんを贈呈しました。

町民税務課

12月3日、「第77回人権週間」に合わせ、広野町人権擁護委員3名により人権啓発活動の一環として役場庁舎内会議室に特設人権相談所を開設しました。

健康福祉課

10月7日、総合健診で収縮期血圧135以上の方などを対象に食生活の改善を図るため、株式会社カゴメの協力の下、血圧測定、野菜の摂取量を測定するベジチェック及び塩分と野菜摂取量のバランスを測定するナトカリチェックを実施しました。本事業には18名の参加がありました。

10月21日、マイトレとして、ウォーキングに取り組んでいる町民が多い傾向にあることから、総合健診での問診や結果によりBMI25以上の方や歩行中転倒したことがある方などを対象に、歩行の質の改善を図るため、県の先駆的民間プログラム事業を活用し、受託者である株式会社花王と歩行バランスやスピードから推定する歩行年齢を測定するため歩行改善プログラム測定会を実施しました。本事業には33名の参加がありました。

11月1日、「ひろの秋まつり」の一環として、広野町中央体育館において、「健康まつり」を開催しました。町民の健康維持増進と生活習慣病予防の推進を図ることを目的として、食生活改善推進協議会による減塩及び野菜摂取の必要性の啓発、ふくしま心のケアセンターによる睡眠に関する相談、血圧測定及び体組成測定など関係機関の協力の下実施したほか、放射線健康対策事業として、原子力安全研究協会によるホールボディカウンタ積載の大型バスでの内部被ばく検査を実施し、会場内では子どもから大人までスタンプラリーを楽しみながら大勢の方に参加をいただきました。

また、「心と身体をリフレッシュ～あなたも〝マイトレ〟しませんか？」を演題とした「株式会社ルネサンス　運動指導員　藪下清人様」によるマイトレ推進のための健康講演会を開催し、約30名の参加者が運動を交えた講話を熱心に聞いていました。

健康まつり講演会

こども家庭課

10月4日、こども園の運動会を開催しました。当日は天候にも恵まれ、園児たちは、リレーや障害物競走などの競技のほか、鼓笛やダンスなどの演技を元気いっぱい披露しました。

こども園運動会

10月15日、こども園の秋の遠足を保育部と幼児部に分かれて実施しました。保育部は児童館まで散策し、館内においてゲームなどで遊びました。幼児部は日立かみね動物園へ出掛け、多くの動物を楽しく見学しました。

10月23日、広野こども園において、いわき短期大学付属幼稚園児との2度目の交流をしました。遊具で遊んだり、ダンスをしたり、グループに分かれてゲームを楽しんでいました。

11月11日、こども園幼児消防クラブによる防火パレードが、駅前通りにて行われました。当日は、こども園児、広野町消防団をはじめ富岡消防署楢葉分署、双葉警察署の皆さんも参加し、地域住民へ火の用心を呼びかけました。

11月21日、広野こども園において、いわき短期大学　中川希望　准教授と学生による園児の運動能力測定を実施しました。園児たちの運動能力を把握し、測定結果を基に今後の運動や遊びについて検討していきます。

11月21日、児童館において、避難訓練を実施しました。当日は地震災害に対する意識を高めるため、地震体験車を活用し地震の揺れを疑似体験しました。児童たちは、これまで映像などで見てきた地震の様子を実際に体験することで、身近なこととして捉えることが出来ました。

12月6日、こども園の発表会を開催しました。保護者の皆さまに多数ご来園いただき、園児たちは踊りや劇など日々の練習の成果を元気よく披露しました。

12月1日現在、こども園、児童館の在籍者は、こども園95名、児童館63名となっています。

環境防災課

9月22日から9月29日にかけ、役場前交差点において、秋の全国交通安全運動の取り組みとして、国道6号を通行するドライバーと通学時の児童生徒に対して、特別職及び管理職による立哨活動を行い、9月24日には職員総出で横断幕やプラカードを掲げ、交通事故防止啓発活動を実施しました。

9月28日、広野町中央体育館において、坂本竜太郎衆議院議員を始め、多くの来賓のご臨席をいただき、令和7年広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式を挙行しました。消防団の厳格な規律や団結力を高め、町民の生命、財産を守ることを念頭に、広野町消防団、婦人消防隊、株式会社JERA広野火力発電所自衛消防隊、総勢58名の参加の下行いました。

広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式

9月30日、築地ヶ丘公園、折木地区集会所及び中央体育館において、地震・津波避難訓練及び相双地方防災訓練を実施しました。津波浸水想定区域だけにとどまらず、余震等による家屋の倒壊や土砂災害への警戒を想定して町内全域を対象とし、本年度は、「災害時における消防活動支援に関する協定」に基づく双葉地方広域市町村圏組合消防本部、株式会社JERAとの三者合同訓練を併せて実施し、住民、企業、消防団、婦人消防隊、関係機関など131名のご参加をいただき、シェイクアウト訓練、避難者誘導訓練、無人航空機ドローンを活用した情報収集訓練、福島県によるVR体験など14種目の訓練を実施し、防災関係機関相互の連携強化と住民の防災意識の高揚を図りました。

10月23日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、交通事故防止対策、事業系ごみの排出方法について会員企業に協力を求めました。

9月18日、10月23日、12月12日、広野町安心・安全ネットワーク会議立哨活動を国道6号役場前交差点等で実施し、ドライバーに安全運転への注意喚起を促しました。

11月8日、地球温暖化対策の一環として、ごみの減量化・再資源化を目的に家庭で不要になった小型家電のイベント回収を行いました。役場駐車場に特設コーナーを設け、使用済み小型家電778kgを回収しました。

産業振興課

9月12日、福島県において町内全域より3点を抽出し検査した令和7年産米の放射性物質検査結果が公表され、すべて測定基準値以下となり、広野産米の安心・安全が確保されました。

11月1日、広野町公民館駐車場において、秋の風物詩となるひろの秋祭りの一環として、農業団体、商業団体などのご協力により収穫祭を開催しました。飲食物の販売や地元野菜の無料配布など、町内外から訪れた約1，000名の皆さまにお楽しみいただきました。

11月12日、広野町役場前において、ふるさと応援寄付金の納税者に対する返礼品としての納税者に対する返礼品としての納税者に対する返礼品としての